令和2年度 放課後デイみだい 自己評価表

※ここに載せている評価は、放課後デイみだいの常勤(パート含)のスタッフ、みだい寮の兼務している職員、
兼務配置ではありませんが多く入ってくれている職員の計7名で評価を行いました。
常勤以外の方は知らない事もありますが、それも踏まえて多方面からの意見を掲載します。
類似していた意見は、まとめています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	3		・平日は利用人数に対して環境的には狭い。 ・おやつ作りや工作では席が足りない。 ・活動によっては時間差で取り組む工夫をしている。 ・共有スペースの訓練棟・駐車場の空き地を上手く利用している。 ・制服からの着替えの人数が増えるので、パーテーションのみではスペース的に難しくなってきた。 現状と課題・改善: ・来年度から男女共に制服から着替える方が増える為、カーテンレールに関しては相談が必要。 ⇒評価を行う中でカーテンレールを設置して頂き、着替えるスペースが確保できた。 ・宿題を行う際部屋数が足りなかったが、評価を行う中で別棟の部屋を借りられる事になった。 ・活動の席については、時間をずらしたりと今後も工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	2		・入所の支援員が兼務として補助に入る事は必須な状況。 ・子ども達が下校してから夕方送るまで、平日は手一杯の状態。用事(会議・電話対応等)で欠が生じる時は補充が必要。 ・もう一人スタッフが増えても良いと思う。(兼) 現状と継続・課題: ・学校ではトイレや更衣等、異性への対応を確実にしている。自事業所では常勤スタッフが全て女性の為、男性が兼務で入った際にはお願いをしている。 ・コロナ感染症対策の対応で兼務が1名固定になった事は、引継ぎがスムーズになり良い点はあった。 ・今後も兼務を含めた他からの配置を継続していく。 ・兼務の職員に入って貰いながら、男性のパートも検討している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		1	・訓練棟でサッカー、バスケットボールを使用する際、電気に注意するよう声を掛けている。 現状・継続:蛍光灯のガードを検討したが、ガラスでは無い為利用児には言葉掛けを行いながら、安全に有意義に過ごして貰えるよう配慮していく。

業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2			・中々放デイに入る機会が少ない職員は、興味は薄い気がする。 現状と課題：広く職員がという面では常勤ではおおよそできているが、兼務となると難しい。 継続と課題 ：必要に応じて、ケース会議や職員会議で報告は今後もしていく。 ：「放課後デイとは何か」。時々入所の職員に理解して貰う必要があると感じる場面がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				・アンケートを行っている事は知っている。（兼） ・評価を通して取り組めた事もあった。 改善：今年度目標にしていたものでも取り組めなかった事もあるので、来年度へ継続。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				・HPに掲載し、公開している。 ・周知されている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					・外部評価を行う第三者が、現在山梨にはいない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1			・有償運送の研修へ行き、送迎に対して気が引き締まった。「みだいのスタッフは運転が丁寧」と言っていくれる児童がいた。 ・クローバーから南アルプス市への児童関連の研修の通知を頂き、参加する事ができた。 課題：今年度はコロナ感染症の影響で殆ど研修に行く事ができなかった。 　　：来年度は児童関連の研修に参加できたら良いと思う。 継続：苦情や虐待、児発管等の必要な研修へ参加する。 　　⇒みだい寮の総括にも記入済
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				・兼務で入った際、目標を教えて貰い、その児童に合った計画が作られていると思った。 ・特に新規の児童に関しては、導入の部分を大切にしている。 継続：継続利用の際のアセスメントは、周りのスタッフの意見も取り入れながら進めていく。 ・モニタリングや関係者の集まる会議で出た課題も含めて今後も検討していく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2			・兼務で入った際、その児童に合った物が作られていると思った。 継続・課題：標準化されたツールはないが、今年度作成した物で追加の必要性がある箇所に関しては、随時足していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2			兼務：関わっていない。 ・コロナ感染対策の関係で、入所へ手伝いに行く支援が無くなった事で、午後の活動の支度をしてくれるスタッフがいる。 現状：プログラムの立案は時々意見を交換している。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				・曜日固定の利用の方もいるので、活動の種類を曜日で固定しないようにしている。 ・毎日一日の予定を計画し、前準備等しっかりできている。 ・兼務で入る度に、違った活動を行っていた。 ・屋外で活動したい子ども、室内で活動したい子どもの等のニーズに応じた活動が決められている。 ・好評な物は残しつつ、目新しい物も随時取り入れており、マンネリ化はしていない。 ・季節感を取り入れたり、屋外での活動も多く取り入れている。 継続・課題: 個別・集団の活動を大切にしていく。 引き続き、子ども達の希望も聞きながら作成していく。 コロナ禍の中でも事業所の中だけに留まらず、様々な経験や体験ができる様、スタッフ一同で考えながら組んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7				・コロナウイルス感染症の為、春休み前後の休校期間がとても長かった。毎日、違った課題や継続して行っていた事を覚えている(兼) ・休校中の3ヶ月間、子ども達が学校で学んだ事を忘れない、学校が再開した時にスムーズに授業で席に着く事ができる様、工夫して課題の提供を行った。 ・休校中や長期休暇は、ストレスが溜まらない様、勉強後は身体を動かす時間を設けた。 ・其々の利用児が有意義に過ごせる様、場合によっては希望の意見を取り入れ、実践している。 ・長期休暇には午前中は宿題や課題(宿題の無い児童・宿題が終わった児童)の提供ができた。 課題と継続: 来年度も上記同様、取り組んでいく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				現状: ・利用している方の中には、活動以外の課題を設けている場合もある。 集団の中、集団の中の個という位置付けで作成している方もいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1			・適宜行っている。 ・送迎表等を確認しながら、職員間で一日の流れは把握している。 継続・課題:送迎表の活用。 兼務の職員への周知。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				・当日勤務に入っていた職員で、その日の活動や利用児の様子を報告している。 ・細かい事でも共有するようにした。 ・緊急の場合を除き、引継ぎメモ等でも共有している。 現状・と継続:上手く行えているので、継続していく。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1			・各利用児の記録における重要な点や注意点について、口頭でも共有している。 ・日誌、ケース記録の入力は必ずしている。 継続： ・取り組んだ事以外にも、成長した場面、微笑ましい様子も記録へ落とす。 ・加算関係は実績記入、日誌、ケース入力の全てが関係してくるので確実に記録する。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				・必ず行っている。 ・コロナ禍の計画相談関連のモニタリングでは、自事業所としては関係者と直接顔を合わせて行った。 継続：今後も直接顔を合わせられる関係を続けていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	2			・分からなかった（兼） 継続： ・新しい情報が入れば目を通すようにしている。 ・今後もガイドラインに目を通しながら行う。
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				・必ず児発管が参加している ： 継続
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7				・感染症等の対応について学校側と連携していた。 ・学校迎え時に、お便りや口頭で連絡を頂いている。 ・学校から情報の詳細が少ない時は、学校へ出向き先生と直接話をした。また、相談員や基幹を通して学校へ確認をして貰う事があった。 継続と課題：今後も一人ひとりのケースに合わせて、スムーズに連携できる様に意識する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					・現在、医ケア児の利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1			・今年度はコロナ禍という事で、新規の利用児関して直接児童発達支援センターへご本人の様子を見に行く事ができなかった。 課題と継続：次年度小学部へ入学予定の利用児童に対し、可能であればご本人の様子を見に行ったり、相談員や先生から引継ぎをして貰う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1			・わかば支援学校以外の学校は、移行会議へ出席の連絡が来るので出席をして情報を伝えている。 ：継続

や保護者との連	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		1	・ケースに応じて助言を頂いたり、現状の確認を行い、支援の方向性を見出している。 課題と継続：今後も次女で悩んだ時には相談していく。

携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	1	・コロナ禍の為、昨年度よりは交流の機会は減った。 ・公園で地域の子どもと触れ合う機会はあった。 継続：意識的に機会は設けないが、日常の中での触れ合いは大切にしていく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	2	・コロナ禍の為、今年度は協議会自体が中止になっていた。 継続：通知が来た際には参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1			・連絡帳を通して状況を伝え合っている。特記事項的な事は電話、或いは送り時にお伺いして話の場を設け、共通理解を心掛けている。 ・関係者会議への出席し報告をしている。 ・共通理解を図ろうと努力しているが、難しい家庭もあると思う。 ：上記の継続。 課題：学校や併用している児童に関しては他事業所との意見も交換していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	2	4		1	・日頃の子どもの様子から助言等はしている。 ・関わりのヒントや助言をする事はある。 継続：保護者との日々の会話を大切にしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				・契約時に説明を行っている。 ・モニタリング兼会議の際に、新しい支援計画の内容も検討している。 ・計画作成後、支援内容の説明を行い、保護者へ計画のコピーを渡している。 継続：上記の継続と、新しく利用する保護者に対し、分かり易い内容で伝える配慮が必要。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				・相談に応じている姿を見ていた。 ・要請があれば、いつでもできる限りの相談に応じていると思う。 ・電話対応やモニタリングを兼ねた会議の中でも随時行っている。 ・共通理解を持ち行っている。 上記の継続。 きちんと対応出来る様に、今後も経験を積んでいく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	1	2	・父母の会は無い。 ・コロナウイルス感染症予防の為、開催を控えた。 課題：来年度も感染症の様子で判断していく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				・今年度、苦情はありませんでした。 ・苦情窓口の体制がある。 ・みだい寮全体で、其々の立場から苦情があれば報告をしており、全体で周知している。 ・苦情で無くても、皆が明るい気持ちで利用できる様、何かあれば逸早く、対応・解決していると思う。 ：上記継続
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				・今年度より、みだい通信を不定期ではあるが発行している。 ・通信は写真満載で子ども達の様子が分かる様にしている。 ・部屋に飾ってある物を見ました。写真が沢山あると、子ども達も嬉しそうだった。 ・活動予定は配布とHPへ掲載をしている。 課題と継続：便りが途切れない様に配布したい。作る工程に慣れるまでは今の方法で行う。
	35	個人情報に十分注意しているか	7				・留意している。 ・通信に関しては、顔等の写真掲載の同意書を取っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				・腰を低く、同じ目線で何度も繰り返し繰り返し伝わるまで話し掛ける心掛けをしている。 ・伝え方に気を付けている。 ・事前に留意点の情報を教えて貰い、送迎時にはそれを踏まえて対応した。 課題と継続：それぞれのケースに合わせた配慮をしていく。保護者に対して困難に思う時には、今後も相談員等へ相談していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか					・コロナウイルス感染症予防の為、納涼祭・福祉村祭りは中止となった。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4			・みだい寮自体のマニュアルはある。 　しかし、放課後デイのみの防災のマニュアルは作成途中である。 ・コロナウイルス感染症対策として、ご家庭により周知が難しい事があり、何度か通知を送った。 継続：今後も必要があれば通知の発送をしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				・入所施設（みだい寮）と合同で避難・防災訓練をしている。 ・毎月実施しているが、夜間訓練の月はしていない。 ：継続。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2			・今年度はコロナ禍の為、研修は無かった。 ・職員全体会議の権利擁護委員会の中で、検討されていた。 継続と課題：コロナ禍の中でもできる事、やらなければならない事はみだい寮全体で工夫していく事は必要だと思う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか					・マニュアルにはあるが、現在身体拘束が必要な児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		1	・医師の指示に基づき、保護者から情報を貰い確実に対応している。 ・今後も継続。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				・事例について朝礼や会議で報告し周知している。 ・会議に参加できないスタッフは口頭での報告や会議記録で周知している。 継続：児童のヒヤリは日々ある。スタッフ同士で予測を立てたりと随時検討し、日誌の記載、特にケース入力を主としている。必要があれば、ケース会議や職員全体会議で周知をしている。
その他	44	兼務の方へ： その他、兼務の立場から見た疑問や放デイスタッフに対してアドバイス等あれば、気軽に書いて下さい。					

・平日は利用人数がとても多かったので、送迎前に子ども達の話をスタッフからもっと聞いていれば、更に適切な関わり方ができたかもしれません。

・どの様に対応すれば良いのか悩む事があったので、その場で対応方法を聞きました。